

Introduction

Rosemarie T. Trugilo & Shalom M. Fisch

担当：稲垣 忠(東北学院大学教養学部)
tinagaki@mba.ocn.ne.jp

【ひとこと概要】セサミストリーの概要。本書の構成について。

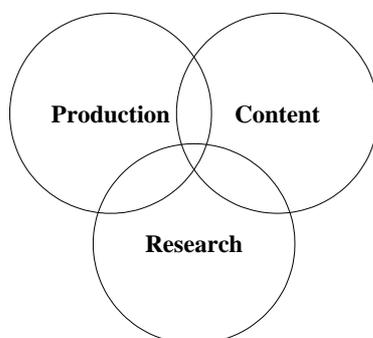
セサミのプロフィール

- ・ 1969年にはじまった。テーマは数とアルファベットにフォーカス だんだん広がってきた
- ・ 99年までに76のエミー賞，140カ国で放送，米の幼児の95%が3歳までにセサミを視聴(1996)
- ・ CD-ROM，雑誌などへのマルチメディア展開
- ・ 幼児むけに体系だてられたカリキュラムと学習目標を設定したはじめての番組。
- ・ CTW model : 実証的な研究と番組制作をはじめて結びつけた。

制作過程に対するFormative Research + 成果物に対するSummative Research

The Electric Company, 3-2-1 Contact, Blue's Clueなどの番組へ展開も

- ・ Producer, Researcher, Content Specialistの3者のCollaboration
- ・ 100以上の調査がセサミに対してされ，テレビの教育利用への道を切り開いてきた。
- ・ Formative Researchについては，ほとんど外部に公開されていなかった。



本書の構成

：カリキュラム開発とFormative Research

- 1 . セサミ研究の誕生
- 2 . セサミのカリキュラムの構成と変容
- 3 . Formative Researchとは？
- 4 . Formative Researchが果たしてきた役割 この30年のケース・スタディから

：セサミの教育効果

- 5 . セサミ研究のレビュー
- 6 . セサミの就学前教育としての効果
- 7 . 学校教育に対するレディネスは育ったのか？全国調査からの検証
- 8 . セサミで育った子どもはどうなったのか？？年後の再検証

：他の国，他メディアへのセサミの展開

- 9 . 世界のセサミ研究
- 10 . セサミ教材の保育場面での役割
- 11 . セサミの書籍展開
- 12 . CTW流のインタラクティブ・メディアに対する調査

：結論

- 13 . なぜ子どもたちはセサミで学習ができたのか？